

誌上ギャラリー 退職教職員作品展（書道の部）に出品された
故菊地定則さんの作品 『喝』（120 cm×90 cm）



フォーラム会員の菊地定則さんが今年4月30日に亡くなりました。1922（大正11）年生まれの91歳でした。
菊地さんは群馬県高等学校教職員組合や日本高等学校教職員組合の役員として活躍する中で、妙義基地反対運動や平和運動に取り組みました。その平和にかける情熱的な姿勢は亡くなるまで衰えることを知らず、平和

委員会の活動や中国人強制連行・強制労働事件の裁判支援に奔走する姿は私たちの胸を熱くさせるものでした。
菊地さんは毎年4月に開催される退職教職員作品展に書作品を出品し続けてきました。「反核」「闘魂」「非戦」「棄戦」「護憲」「干戈」「謀略」「亂」「否戦」など、すべて反戦・平和を力強く訴える大字作品でした。そして今年の「喝」。



竹筆を用いたと思われませんが、時勢をとらえ、渾身の力を込めた迫力のある作品は見る者に感銘と勇気を与えてくれます。
山芋という雅号は、野にいてもしつかり根を張りしつかり世の中を見つめてやるぞという思いが感じられます。
集団的自衛権の行使容認の閣議決定するよ
うな安倍首相に対して、今、菊地さんは何と
いう文字で表現したでしょうか。
さまざまな力が平和と民主主義を脅かして
います。菊地さんに今までもまして力を貸
していただきたいし、喝を入れ続けていただ
きたいと願っています。合掌

須田章七郎